

## 黒耀石研究センター活動報告2023



# 2023年度 黒曜石研究センター活動報告

## I 研究活動

### (1) 「長和センター」

#### ① EDXRF (エネルギー分散型蛍光X線分析装置) による黒曜石原産地推定

日本電子 (JEOL) 社製 JSX-3100 II を用いて、九州地方の主要な原産地黒曜石を測定し、その結果にもとづいて原産地推定のための判別図を作成した。これにより、北海道から九州まで列島全域の原産地推定が可能となった。

また同装置を用いて北海道空港南 A 遺跡・智東8遺跡・楠遺跡・ユカンボシ E9遺跡・同 E4遺跡・茂漁7遺跡・南松島遺跡、埼玉県清河寺前原遺跡・西武蔵野遺跡・新屋敷遺跡・滝の宮坂遺跡、神奈川県深見諏訪山遺跡、長野県志なの入洞穴、広島県冠原産地遺跡などから出土した黒曜石の原産地推定を実施した。

#### ② p-XRF (可搬型蛍光X線分析装置) の実用化と黒曜石原産地推定

黒曜石研究センターが保有している DELTA 社製 p-XRF の強度を JSX-3100 II の強度に変換する一次回帰式を作成し、JSX-3100 II 用の原産地判別図を DELTA 社製 p-XRF でも共有できるようになった。これを用いて千葉県伊豆山台遺跡・花山遺跡、静岡県見高段間遺跡、京都府京都御苑内遺跡などの原産地推定を実施した。

#### ③ 信州黒曜石原産地の踏査

蓼科冷山群の原産地における産出状況や、その蛍光X線分析による細分のために、麦草峠および大石川周辺の踏査とサンプリングを実施した。

#### ④ その他

蛍光X線分析法では分離できない判別群を晶子形態の観察によって分離する試みを継続している。蓼科冷山群 (TSTY) は比較的広範囲に産出地が広がり、それぞれ

外観も少しずつ異なっているが、蛍光X線分析では今のところ分離できていない。今年度はこれらの産出地を晶子形態によって限定する方法を探り、その可能性があることが明らかとなった。またこの成果によって、佐久市香坂山で蓼科冷山群と推定されていたものが、より地域的に限定できる可能性が高まった (中村由克客員研究員)。

岡谷市丸山遺跡草創期石器群の整理作業を継続した。今年度は縄文早期以降のものとして収蔵されている石器の中から、石斧や石鏃などを抽出し追加実測するとともに、黒曜石については原産地推定を実施した (中村客員研究員と橋詰潤元センター員との共同研究)。

縄文時代前期後葉の「オブシディアン・ラッシュ」の実態を明らかにするために山梨県釜無川中流域の2遺跡と東京都八王子地区の8遺跡の原産地推定を実施し、その成果を論文化した (帝京大学文化財研究所 金井拓人・身延山大学 保坂康夫との共同研究)。(池谷信之)

### (2) 猿楽町分室：先史考古学関係

#### ① 縄文土器の機能に関する研究

研究協力協定を結ぶ東京大学総合博物館放射性炭素年代測定室と、同位体分析による土器の機能解明、および縄文時代の加工食品の内容物解明のために長野県井戸尻遺跡・群馬県行田大道北遺跡、山形県材木遺跡などから出土した資料の分析を実施した。

千葉県塚の腰遺跡から出土した型式不明の土器について、その特徴を抽出したうえで炭素年代や網代痕跡などの分析をへて編年的位置とその類例、編年的な位置について同研究室と共同研究を実施した。

#### ② 縄文時代のヒスイ・コハク利用に関する研究

昨年度に現地踏査を実施した、山形県最上町材木遺跡について科研費による学術調査を9月3日～13日に実施した。遺跡からは縄文時代晩期の土器・石器が多量に出土し、遺構は検出されなかったものの、滑石や緑色石英



シンポジウム会場の状況

を用いた小玉・勾玉などの製品・素材などが出土し、当該地域での在地石材を用いた攻玉生産の様相についての解明の糸口を得ることができた。

『縄文の装身具を考える』と題したシンポジウムを東日本地域の研究者を招聘して、1月27日に本学にて開催した（詳細は「Ⅱ 研究交流・研究会」に掲載）。昨年のシンポジウムでは縄文中期のヒスイ・コハクを中心とした原産地の様相や生産遺跡などの様相を話題としたが、本年はヒスイと各地の在地系石材を中心にその利用形態や加工、そして副葬状態などについて検討と比較研究を行った。

### ③ トチノミ食に関する考古・民俗研究

昨年度に続き、トチノミ食に関する民俗学的な聞き取り調査を、長野県秋山郷・新潟県三面・岐阜県徳山村などで行った。聞き取り調査と併せて、それぞれの地域（役場・博物館・図書館）での文献調査も実施し、トチノミ食に関する文献資料についても悉皆調査をすすめた。こうした成果をまとめて『トチノミ食に関する民俗』と題した資料集を2月に刊行した。

### ④ 明治大学研究者交流支援事業

明治大学研究者交流支援制度（Research Mobility Grant）を利用し、Vietnam Academy of Social Science Institute of Archaeology の Nguyen Gia Doi 博士を本学に招聘した。黒曜石研究センターとの共催事業としてベトナム後期旧石器時代の多層遺跡として著名な Con Moong 洞穴の調査成果、並びに80万年前の前期旧石器時代遺跡として世界的にも注目されている An Khe 遺跡の研究成果に関する講演（「Lower Paleolithic Industry of An Khe in Central Vietnam」）が6月22日と7月1日、本学に於いて実施された。（栗島義明）

### （3）猿楽町分室：植物考古学関係

今年度は、科学研究費学術変革領域研究（A）の計画研究班研究代表者および研究分担者、同研究総括班研究分担者、基盤研究（A）の研究分担者4件、基盤研究（B）の研究代表者2件、同分担者5件、基盤研究（C）の研究分担者1件、挑戦的研究（萌芽）の分担者2件が採択されており、それぞれの研究に基づいて調査研究を実施した。

- (1) 鹿児島県始良市において縄文時代中期の前田遺跡出土編組製品の復元実験を行った。現地協力者とともに遺跡周辺において素材植物を採取し、素材の分割と調整、復元製作を行った。
- (2) 福島県福島市前田遺跡の縄文時代中期～晩期土器圧痕の若手育成を兼ねた大学合同調査を行い、その3回分の成果を『福島県埋蔵文化財センター 白河館研究紀要』22号に投稿した。また同遺跡出土の自然木のプレパラート標本を作製して同定し、森林環境の復元を行った。出土大型植物遺体と編組製品の観察指導を行った。さらに土器付着炭化物のサンプリングも実施した。
- (3) 土器圧痕や炭化種実、土器付着炭化物として類出するキハダやミズキ、ニワトコなどの利用を解明するため、岩手県御所野縄文公園とその周辺において現生樹木の果実を採取し、化学成分分析試料を研究分担者および研究協力者に送付した。
- (4) シダ植物で製作した縄文時代の縄の実態を解明するため、岩手県御所野縄文公園とその周辺においてリョウメンシダとワラビを採取し、御所野縄文博物館の研究協力者とともに縄の製作を行った。
- (5) 土器種実圧痕および敷物圧痕の調査を水子貝塚資料館、多摩六都科学館、千葉市埋蔵文化財センター、是川縄文館などの各地の出土資料所蔵機関で行った。
- (6) 京都府小樋尻遺跡や東京都泉岳寺駅改良工事地区などから出土した木製品類や自然木の樹種同定を行って、森林組成の復元と資源利用を解明した。
- (7) 東京都調布市下布田遺跡出土の大型植物遺体の同定を行った。
- (8) 神奈川県西富岡上糟屋遺跡出土の箆の調査指導と素材同定のためのサンプリングを行った。
- (9) 佐賀県東名遺跡で出土編組製品の素材植物同定のた

めのサンプリングを行った。

- (10) 青森県是川縄文館で出土藍胎漆器の調査と素材植物同定のためのサンプリングを行った。企画展示に向けた事前調査を実施した。
- (11) 東京文化財研究所で南蛮漆器の木胎の調査を行った。
- (12) 現生植物の対照標本を東京大学樹芸研究所で採集した。さく葉標本のほかに種実や繊維、木材の標本を採集し、共同研究機関に配布した。
- (13) 昭和女子大学、國學院大學、東京大学、東京学芸大学、千葉大学、東北大学、福島大学、立命館大学、京都大学の学部生および大学院生の卒業論文および修士論文作成指導を行った（計11名）。早稲田大学と國學院大學の修論審査を行った。
- (15) 東京国立博物館および東京都奥多摩町で木彫像の樹種を調査した。タイとベトナムで古代の仏像の調査を行った。韓国南部と対馬でカクレミノからの黄漆採取の調査を行った。
- (16) ラオスで編組製品の使用と素材植物選択に係る聞き取り調査をラオス国立大学と共同で実施し、前年度の調査成果を現地で報告した。
- (17) 国立民族学博物館、国立歴史民俗博物館にて共同研究の内容を発表した。
- (18) 多摩六都科学館や相模原市博物館で一般向けの土器圧痕ワークショップを開催した。日本考古学協会、日本文化財科学会、日本植生史学会で研究成果を発表した。
- (19) かながわ考古学財団、奥会津博物館、浅間縄文ミュージアム、東村山ふるさと歴史館、御所野縄文博物館で招待講演を行った。（能城修一）

#### （４）センター構成員による科研費研究

センター員・客員研究員による 2022 年度科研費研究は、新規採択された研究はなかったものの、代表者 9 件・分担者 14 件の研究が執行された。

## Ⅱ 研究交流会・研究会

- （１）黒耀石研究センター主催シンポジウム：  
資源環境と人類 2023『日本列島および東

### ユーラシアにおける細石刃石器群の展開』

日時：2023年11月11日（土）・12日（日）

場所：明治大学駿河台キャンパス・グローバルホール

共催：ハヶ岳旧石器研究グループ

研究発表

「小石刃生産と細石刃生産をめぐって」 堤 隆  
(COLS)

「細石刃の作り方」 大場正善（山形県埋蔵文化財センター）

基調講演

「日本列島の細石器と細石刃」 田村 隆（千葉県）

「コロニーの形成、なぜ湧別集団だけなのか？」

稲田孝司（岡山大学名誉教授）

研究発表

「北海道南西部における細石刃石器群研究の進展」

高倉 純（北海道大学）

「神奈川の細石刃出現期と尖頭器」 諏訪 順

(COLS)

「古本州島における細石刃石器群の出現と展開－西からの視点－」 芝 康次郎（文化庁）

「内陸アラスカにおける完新世細石刃文化の変容と終焉」 平澤 悠（東亜大学）

「中国細石刃石器群の展開」 加藤真二（奈良文化財研究所）

「朝鮮半島の細石刃石器群」 大谷 薫（東京都立大学）

基調講演

「韓半島における黒曜石の原産地ネットワーク」

張 龍俊（韓国国立大邱博物館）

特別講演

「古代ゲノムからみた日本列島への人類拡散」

太田博樹（東京大学大学院）

紙上発表

「神津島産黒曜石の海上運搬、そして集住と散開」

池谷信之（COLS）

「北方系社会集団が海を渡った時」 諸星良一（東京航

業研究所）

「近畿・中四国地方における細石刃石器群研究の課題」

光石鳴巳（檀原考古学研究所）

ポスター発表

「タチカルシュナイ第V遺跡 C 地点の黒耀石原産地と水和層の解釈」 青木要祐（新潟大学）・中沢祐一（北海道大学）・佐野恭平（兵庫県立大学）・和田恵治（北海道教育大学）

「東海地方西部における細石刃剥離技術と石材環境」 村井咲月（南山大学大学院）

「細石刃植刃槍の投射実験と衝撃剥離痕跡」 両角太一（大正大学大学院）

「山形県大石田町角二山遺跡における珪質頁岩製細石刃の剥離技術 - 東北大学考古学研究室発掘調査資料を中心に -」 金 彦中（東北大学大学院）

「北方系細石刃石器群の南下経路と荒屋遺跡の位置 - 魚沼から信州・関東へ -」 加藤 学（新潟県埋蔵文化財調査事業団）

（2）シンポジウム『縄文時代の装身具を考える』

主催：基盤研究 (B) 「縄文時代のヒスイ・コハクを用いた装身具の総合的研究」(代表者 栗島義明)

共催：COLS・日本玉文化学会

日時：2024年1月27日（土）

場所：明治大学グローバルフロント2F4021教室

発表者：栗島義明 (COLS), 柳瀬由香 (北海道埋蔵文化財センター), 山地雄大 (青森県教育委員会), 山本友紀 (福島県教育庁), 野代幸和 (山梨県立考古博物館)・林 亮太 (釈迦堂遺跡博物館), 坪田弘子 (玉川文化財研究所), 川端典子 (朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶん KAN), 久田正弘 (石川県埋蔵文化財センター), 渡辺 新 (千葉縄文研究会)・谷畑美帆 (COLS)・千葉南菜子 (千葉市教育委員会)

（3）信州鷹山「旧石器ワークショップ」

考古学を志す学生や若手研究者の育成と交流を目的に石器づくり体験実習や黒耀石原産地の踏査、石器研究概論、原産地推定や石器編年などに関する講義を行った。講師10人、学生と研究者21人の参加があった。

主催：COLS, パレオ・ラブ

日時：2023年10月7日（土）～9日（月）

場所：明治大学黒耀石研究センター, 長和町長期滞在施

設, 星糞峠黒耀石原産地, 東餅屋黒耀石原産地, 星ヶ台黒耀石原産地

（4）普及講演会「ヨーロッパ旧石器時代の洞穴壁画」

主催：COLS

日時：2024年1月21日（日）

場所：明治大学駿河台キャンパス グローバルホール

主催：COLS

後援：八ヶ岳旧石器研究グループ

講演「ヨーロッパ旧石器時代の洞窟壁画」五十嵐ジャンヌ（東京藝術大学）

鼎談「洞窟壁画に表現されたもの」

登壇者 佐藤孝雄（慶應義塾大学）

五十嵐ジャンヌ（東京藝術大学）

堤 隆（COLS）

（5）信州黒耀石フォーラム

黒耀石に関わる以下の論点を基軸とした研究を推進すると同時に、黒耀石原産地遺跡と集散地遺跡・黒耀石が供給された遺跡などの、黒耀石の「絆」で結ばれた長野県の遺跡の保存と活用の道を探ることを目的として開催している。1黒耀石の生成と原産地の成り立ち。2黒耀石利用をめぐるヒトとモノの動き。3黒耀石からみた石器時代社会の復元。

これまでではフォーラムメンバーに限定してオンライン開催していたが、今年はメンバー以外の研究者にも周知して開催した。

第9回（通算）7月16日（日）オンライン拡大開催

「岡谷丸山遺跡発掘調査の概要」 山田武文（岡谷市教育委員会）

「岡谷丸山遺跡出土石器の検討：草創期石器の抽出とその評価にむけて」 橋詰 潤（新潟県立歴史博物館）

第10回（通算）9月10日（日）オンライン拡大開催

「岡谷丸山遺跡出土黒耀石の原産地とその解釈」 池谷 信之（COLS）

「岡谷丸山遺跡の石器石材とその産地」 中村由克（COLS）



## (6) 黒耀石研究センター研究集会

黒耀石研究センター構成員の一年間の研究成果を持ち寄り、議論を通じて次の共同研究の発想を得ることを目的として年1回の研究集会を開催している。新型コロナ禍を考慮してオンライン開催を続けていたが、今年は3年ぶりに対面で開催した。

当日は10名の口頭発表があり、8件の紙上発表も加わった。

日時：2023年12月24日（日）13：00～17：00

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー1073号教室

## (7) 国際研究交流

### ①国際黒耀石会議遠軽大会2023の開催

国際黒耀石会議 International Obsidian Conference (IOC)が、北海道紋別郡遠軽町を会場として開催された。明治大学黒耀石研究センターは運営のために複数の組織委員会を出し、重要な役割を担った。

会期：2023年7月2日（日）～7月6日（金）

場所：北海道遠軽町 遠軽メトロプラザほか

Local organizing committee（以下、COLS 関係者）

小野 昭（General chair・元 COLS センター長）・  
島田和高（Publication chair）・隅田祥光（Publicity chair・元 COLS）・池谷信之（Publicity vice chair・COLS 副センター長）

### □ Keynote speech

Overview and prospect of obsidian provenance studies in Japan 隅田祥光（長崎大学・元 COLS）

### □ Conference Sessions

1. Formation of obsidian
2. Obsidian sources and their characterization
3. Analytical methods and databases of obsidian data
4. Cultural aspects of obsidian during different archaeological periods
5. Lithic technology and traceological studies
6. Regional development in relation to geological heritage and archaeological obsidia

### □ Public lecture

Rare, shiny and deadly: why is obsidian so special?  
Robin Torrence (Australian Museum)・島田和高（通訳）

### ②オランダ・シーボルトコレクション中の黒耀石の調査

シーボルトが日本から持ち帰った鉱物コレクションは、現在、オランダ、ライデン市のナチュラーリス生物多様性センターに所蔵されている。その黒耀石の中には、「信州和田峠、ホシクソ」の付箋のある資料が含まれている。

2022年11月17日、大竹幸恵（長和町黒耀石体験ミュージアム）と矢島國雄（COLS）らは、長和町の青少年国際交流事業の一環として、現地調査を実施し資料保管状況を確認するとともに、持参した可搬型蛍光 X 線分析装置（p-XRF）を用いて原産地推定を実施した。

2023年度は8月7日に現地を再訪し、シーボルト・コレクションの黒耀石の詳細観察、法量計測、石器と判断されたものの実測図作成、ラベルの精査を行った、この成果の一部は本誌「報告」として発表した。

### ③ APA（アジア旧石器学会）への参加

2年に1度、日本・中国・韓国・ロシアを会場として開催されている APA であるが、今年は8月18日（金）～22日（火）に、韓国 全羅南道 順天市を会場として開催され、黒耀石研究センターからは島田和高と堤 隆が参加した。

## III 地域連携

### ①長和町「黒耀石のふるさと祭り」への参加協力

8月27日（日）に長和町黒耀石体験ミュージアムをメイン会場として開催された「黒耀石のふるさと祭り」に参加協力した。

黒耀石研究センターのエントランスホールに「黒耀石の産地当てクイズ」のブースを設置し、参加者には記念としてセンター特製「黒耀石カード」を進呈した。

## ②各種後援事業

「佐久考古遺産フォーラム」,「神子柴フォーラム」など、周辺自治体などが開催する講演会やフォーラムの事業を後援し、協力した。

2023年度は合計で9件の事業を後援した。

## IV 黒耀石研究センターの運営

## (1) 運営委員会

2023年度黒耀石研究センター運営委員会を以下の通り開催し、審議事項について了承を得た。なお e-mail にて資料配布と審議を行った。

日時：2023年11月13日（月）19:00～

場所：研究知財会議室（駿河台キャンパス・グローバルフロント6階）

## 【配布資料】

資料No1：2022年度第2回黒耀石研究センター運営委員会議事録（案）

資料No2：2023年度明治大学黒耀石研究センター構成員一覧（案）

## 【審議事項】

- (1) 2022年度第2回黒耀石研究センター運営委員会議事録（案）について（資料No1）
- (2) 2023年度明治大学黒耀石研究センター構成員について（資料No2）
- (3) 池谷信之特任教授の勤務地の変更について
- (4) 2024年度任用特任教授駿河台勤務による黒耀石研究センターの研究機能集約について
- (5) 黒耀石研究センターと長和町との今後の協力・連携に関する協議について
- (6) 黒耀石研究センター長和施設の今後の取扱いについて
- (7) その他

## (2) 黒耀石研究センター例会

月に1回、あるいは2ヶ月に1回例会を開催し、構成員による研究の進捗を報告し、センター運営について協議した。

開催日：2023年4月18日（対面）、6月9日（オンラ

イン）、7月28日（対面）、9月22日（オンライン）、11月24日（オンライン）、1月26日（対面）、3月4日（ハイブリッド開催）

## (3) 表彰

2023年5月27日 栗島義明「第13回日本考古学協会賞」優秀論文賞（阿部芳郎（前 COLS センター長）・米田 穰（元 COLS）との共同受賞）

2023年11月12日 佐々木由香「第24回尖石縄文文化賞」

## (4) 日誌抄

2023年4月4日 長和センター内防災設備点検。

2023年4月7日 池谷副センター長、新任の鈴木特別嘱託との業務計画打ち合わせのため猿楽町分室に出張。

2023年4月13日 研究知財事務室にて黒耀石研究センターの今後の運営に関する協議（石川センター長・池谷副センター長・河野研究推進部長・堀内事務長・小林）。

2023年4月17日・18日 中村客員客員研究員、岡谷市文化財整理室および長和センターにおいて、岡谷市丸山遺跡出土草創期石器の石材鑑定。

2023年5月4日 須藤客員研究員と大正大学大学院生、麦草峠および大石川上流の黒耀石の産状調査とサンプリング。

2023年5月17日～19日 中村客員研究員、長和センターにおいて香坂山遺跡および麦草峠・大石川上流の黒耀石晶子形態観察。

2023年5月26日 池谷副センター長、猿楽町分室にて旧蛍光X線分析装置の廃棄と新規導入について業者と打ち合わせ。

2023年5月27日 栗島義明センター員、第13回日本考古学協会賞優秀論文賞を受賞。

2023年5月30日 研究知財事務室にて黒耀石研究センターの今後の運営計画に関する打ち合わせ（乾副学長・石川センター長・河野部長・堀内事務長、池谷はオンライン参加）。

2023年5月28日・29日 池谷副センター長・堤客員研究員・明治大学生・大正大学生・東北大学生ほか、静岡県河津町見高段間遺跡と下田市田京山遺跡出土の黒耀石県見学、箱根・天城黒耀石原産地踏査、沼津市文化



- 財センター所蔵旧石器時代黒耀石見学.
- 2023年5月31日 長和町黒耀石ミュージアムにてシーボルトがオランダに持ち帰った黒耀石資料の今後の調査方針・結果公開について打ち合わせ(池谷副センター長・矢島センター員・大竹幸恵(長和町教育委員会))
- 2023年6月3日 佐久穂町生涯学習センター 花の郷・茂来館にて『佐久考古遺産フォーラム』開催(主催:佐久穂町教育委員会・佐久考古学会, 後援: COLS).
- 2023年6月8日 池谷副センター長・能城客員研究員, 東京都北区中里遺跡出土丸木舟から取得した8K画像にもとづいた検討会に出席(於: NHK 錦糸町システムラサ倉庫).
- 2023年7月1日 明治大学研究者交流支援事業 特別講義“Lower Palaeolithic Industry of An Khe in central Vietnam”を駿河台キャンパス・リバティホールにて開催.
- 2023年7月2日～6日 International Obsidian Conference Engaru 2023 北海道遠軽町遠軽メトロプラザにて開催.
- 2023年7月3日 シーボルトコレクションの日本由来の黒耀石についての記事が信濃毎日新聞第1面に掲載.
- 2023年7月4日 猿楽町分室の旧蛍光X線分析装置, 故障のため撤去.
- 2023年7月11日～12日 中村由克, 長和黒耀石研究センターにて諏訪産黒耀石の晶子形態観察.
- 2023年7月16日 第9回信州黒耀石フォーラム開催(オンライン拡大開催).
- 2023年7月23日 小諸市市民交流センターステラホールにて, 『土偶を読む』出版記念トークを開催(主催: 縄文ZINE・佐久考古学会誌, 後援: COLS).
- 2023年7月31日～8月12日 須藤・堤・中村客員研究員, 長野県佐久穂町トリデロック遺跡発掘調査参加.
- 2023年8月8日 火山実験ワークショップ『浅間山が噴火したらあなたならどうする』を佐久市民総錬センターにて開催(COLS 後援事業).
- 2023年8月9日 河野部長・堀内事務長・小林, 長和黒耀石研究センターと長和町文化財関連施設を視察.
- 2023年8月11日 第3回『佐久石棒フォーラム』を佐久穂町生涯学習館 花の郷・茂来館にて開催(主催: 佐久穂町教育委員会・佐久考古学会, 後援: COLS).
- 2023年8月18日～22日 「アジア旧石器協会(APA)第11回国際シンポジウム」が韓国全羅南道順天市で開催され, 島田センター員・堤客員研究員が参加.
- 2023年8月20日 中村由克客員研究員, 「黒耀石晶子形態に基づく蛍光X線分析で分けられない原産地の特定」で地学団体研究会第77回総会ポスター賞受賞.
- 2023年8月27日 長和町黒耀石体験ミュージアム・長和黒耀石研究センター他において, 『黒耀石のふるさとまつり』開催.
- 2023年9月2日～16日 須藤客員研究員, 広島県廿日市市冠原産地遺跡発掘調査参加.
- 2023年9月10日 第9回信州黒耀石フォーラム開催(オンライン拡大開催).
- 2023年9月15日 池谷副センター長, 猿楽町分室において鈴木特別囑託と『資源環境と人類』の編集方針等について協議.
- 2023年9月30日 『黒耀石研究センターニューズレター』No.19刊行.
- 2023年10月7日 講演会「天明噴火から240年: 浅間山噴火が残したジオ遺産に学ぶ」を軽井沢中央公民館にて開催(主催: 佐久考古学会, 後援: COLS).
- 2023年10月7日～9日 長和黒耀石研究センターにおいて, 『信州鷹山 旧石器ワークショップ』開催(主催: COLS・パレオラブ).
- 2023年11月7日 業者委託による全館清掃.
- 2023年11月11日～12日 駿河台キャンパス・グローバルホールにて「資源環境と人類2023シンポジウム」『日本列島および東ユーラシアにおける細石刃石器群の展開』と特別講演「古代ゲノムからみた日本列島への人類拡散」(講師: 太田博樹)を開催.
- 2023年11月19日 神子柴フォーラム『日本一美しい石器と遺跡の謎』を長野県伊那市ニシザワいなっせホール他にて開催(COLS 後援事業).
- 2023年12月24日 黒耀石研究センター研究集会を駿河台キャンパス・リバティタワーにて開催.
- 2024年1月21日 黒耀石研究センター普及講演会『ヨーロッパ旧石器時代の洞穴壁画』(講師: 五十嵐ジャンヌ)および鼎談『洞穴壁画に表現されたもの』(五十嵐・

佐藤孝雄・堤 隆)を駿河台キャンパス・グローバルホールにて開催。

2024年1月27日 黒耀石研究センター主催シンポジウム『縄文時代の装身具を考える』を駿河台キャンパス・グローバルフロントにて開催。

2024年1月27日 第4回佐久石棒フォーラム『石棒の希望』を佐久穂町生涯学習館 花の郷・茂来館にて開催(主催:佐久穂町教育委員会・佐久考古学会,後援:COLS)。

2024年2月10日 佐久市文化財フォーラム『香坂山遺跡発掘が明らかにした“日本人”の起源』を佐久市交流センターにて開催(主催:佐久市教育委員会,共催:国立文化財機構奈良文化財研究所,後援:COLS)。

2024年3月17日 佐久考古学会フォーラム『発掘された香坂山遺跡と信州旧石器人の暮らし』を佐久市公民館 浅間地区館にて開催(主催:佐久考古学会,後援:COLS)

#### (5) 2023年度黒耀石研究センターの組織

センター長 石川日出志(文学部教授)  
副センター長 池谷信之(黒耀石研究センター特任教授)  
センター員 藤山龍造(文学部教授)  
センター員 栗島義明(元黒耀石研究センター特任教授)  
センター員 矢島國雄(文学部名誉教授)  
センター員 島田和高(博物館事務室・学芸員)  
センター員 能城修一(元黒耀石研究センター客員教授)  
客員研究員 遠藤英子(東京都立大学プレミアムカレッジ特任助教)  
客員研究員 佐々木由香(金沢大学古代文化・文化資源学研究センター特任准教授)  
客員研究員 諏訪間 順(小田原城天守閣館長・学芸員)  
客員研究員 谷畑美帆(文学部兼任講師)  
客員研究員 堤 隆(元御代田町浅間縄文ミュージアム)  
客員研究員 中村由克(下仁田町自然史館館長)  
客員研究員 平井義敏(みよし市歴史民俗資料館)  
客員研究員 水沢教子(長野県立歴史館)  
客員研究員 須藤隆司(元黒耀石研究センター特別嘱託)  
客員研究員 大竹憲昭(長野県埋蔵文化財センター調査指導員)

特別嘱託 鈴木美保

運営委員

石川日出志, 池谷信之, 矢島國雄, 藤山龍造(以上, 黒耀石研究センター)

河野 理(研究推進部長)

佐藤宏之(東京大学名誉教授)

長崎潤一(早稲田大学文学学術院教授)

事務局

小林慶吾(研究知財事務室)

## V 研究業績一覧

### (1) 雑誌論文・著書

阿部芳郎・米田穰・栗島義明・佐々木由香 2023「千葉県坂ノ越遺跡出土の縄文時代草創期土器の検討」『駿台史学』180:1-22

地学団体研究会長野支部「長野の大地」編集委員会(編集責任:中村由克)(編)2023『県歌「信濃の国」一歌詞からたどる地学の旅一』211p. ほおずき書籍

平井義敏 2024「下呂石の4つの石質とその分布」『月刊考古学ジャーナル 特集 石器時代の石材原産地』792:20-24

保坂康夫・金井拓人・池谷信之(印刷中)「八ヶ岳南麓から甲府盆地東部における縄文時代前期後半の黒耀石供給」『日本考古学』58

池谷信之(編)2024『特集 石器時代の石材原産地』月刊考古学ジャーナルNo.792. 39p. ニューサイエンス社

池谷信之 2024「総論 石器原産地研究の現状と展望」『考古学ジャーナル』792「特集 石器時代の石材原産地」:3-4

稲田健一・國木田大・佐々木由香・山下優介・山本華・設楽博己・米田穰 2023「茨城県ひたちなか市遺跡出土の炭化穀類の年代」『茨城県考古学協会誌』35:85-102

石川日出志 2023「大塚初重先生を悼む—明大考古学の先頭を歩み続けた生涯—」『考古学集刊』19:43-51

石川日出志 2023「霊山根古屋遺跡の再葬墓造営過程」『施檀林の考古学Ⅱ』大竹憲治先生古稀記念論文集刊行会:197-202. 大竹憲治先生古稀記念論文集刊行会

- 石川日出志 2023「弥生時代における広域分布土器型式の形成と展開」『考古学研究』70(3):12-26
- 金子悠人・奈良部大樹・佐々木由香 2024「東大橋原遺跡における縄紋中期土器底部の敷物圧痕からみた土器の製作工程」『資源環境と人類』14:37-59
- 金井拓人・保坂康夫・池谷信之 2024「山梨県内釜無川中流域の縄文時代前期2遺跡における黒曜石原産地推定とその解釈」『資源環境と人類』14:77-87
- 金井拓人・保坂康夫・池谷信之(印刷中)「八ヶ岳南麓から八王子西部地域における縄文時代前期後半諸磯式期の黒曜石供給」『帝京大学文化財研究所研究報告』22
- 金剛萱遺跡研究会(執筆責任者:中村由克)2023「金剛萱遺跡の旧石器文化7-2022」『下仁田町自然史館研究報告』8:27-32
- 栗島義明 2023「トチのコザワシ」『利根川』45:70-90
- 栗島義明 2023「トチのアク抜きに関する問題—木灰を用いないコザワシとその意味—」『駿台史学』180:113-136
- 水沢教子 2023「縄文時代のサケ・マス漁の実態」『月刊考古学ジャーナル』780:5-9
- 中村由克 2023「実体顕微鏡観察に基づく山形県金谷原遺跡と横道遺跡の珪質頁岩の特徴」『旧石器研究』19:85-102
- 中村由克・保科 裕・斉藤尚人・小林忠夫・関谷友彦・力田正一 2023「下仁田町岩山—竹ノ上間にみられる屈曲した鑄川の流路変遷」『下仁田町自然史館研究報告』8:13-20
- 中村由克 2023「地域石材の岩石学的研究」『平成30年度～令和4年度科学研究費補助金(基盤研究(C)一般)研究成果報告書:旧石器時代における石材獲得戦略の研究—地域石材からの視点を中心に—』:129-144
- 中村由克 2024「晶体形態による黒曜石原産地の判別」『考古学ジャーナル』792:15-19
- 能城修一 2023「ウルシという植物の特性」阿部芳郎編『縄文の漆と社会』雄山閣:19-34
- 能城修一・佐々木由香 2023「ウルシ利用の人類史」阿部芳郎編『縄文の漆と社会』雄山閣:159-177
- 能城修一・佐々木由香・吉川昌伸・越前慎子・町田賢一 2024「富山県南太閤山I遺跡周辺における縄文時代前期前葉の植物資源利用と管理」『資源環境と人類』14:61-76
- 太田圭・佐々木由香・山下優介・小久保竜也・岩田貴之・工藤美樹2024「レプリカ法による北上市域出土土器の圧痕調査」『北上市埋蔵文化財センター紀要』8:39-58
- 大塚宜明・池谷信之・平川内 毅 2024「統縄文時代の北海道東部における黒曜石利用と地域間関係」『資源環境と人類』14:1-13
- 小澤政彦・西本志保子・佐々木由香・小林謙一 2024「神奈川県相模原市大日野原遺跡の研究—藤野町史関連資料の紹介とレプリカ法による土器圧痕調査」『中央史学』47:1-18
- 佐々木由香 2023「環状列石が造営された時期の環境と植物利用」阿部昭典編『考古調査ハンドブック24 環状列石』ニューサイエンス社:260-271
- 佐々木由香 2024「叩き割り技術による日中新石器時代の編組製品の製作と用途」米田 稔・佐々木由香・覚張隆史編『東アジア考古科学の新展開』雄山閣:124-133
- 佐々木由香 2024「縄文時代の鱗茎利用に関する民俗植物考古学的研究」高橋龍三郎先生古稀記念論集刊行会編『縄文社会の探究 高橋龍三郎先生古稀記念論集』六一書房:415-424
- 佐々木由香・小林和貴・鈴木三男・能城修一・小久保拓也 2024「中居遺跡出土の編組製品の素材植物種」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要』13:1-16
- 佐々木由香・小久保竜也・杉本亘・蒲生侑佳・富高直人・三浦武司・中野幸大・本間 宏 2024「レプリカ法による福島県前田遺跡出土の縄文土器圧痕の同定」『福島県文化財センター白河館 研究紀要』22:(印刷中)
- 佐々木由香・山科哲・小久保拓也・望月昭秀 2023「植物と土偶を巡る考古対談」望月昭秀編『土偶を読むを読む』文学通信:308-364
- 隅田祥光・小野 昭・池谷信之・熊谷 誠・大下日向子・佐野恭平・瀬下直人・島田和高・高瀬克範・橋詰 潤・松村倫文・山田 哲・和田恵治 2024「国際黒曜石会

- 議遠軽大会2023 (International Obsidian Conference Engaru 2023) 開催報告『資源環境と人類』14 : 97-108
- 下岡順直・国武貞克・早田 勉・大石雅之・須藤隆司 2023「北八ヶ岳横岳火山を起源とする八ヶ岳新規第四テフラ (Yt - Pm4) の噴出年代」『第四紀研究』62 (4) : 159-163
- 杉山秀宏・佐々木由香・小林和貴・鈴木三男・能城修一 2024「弥生時代の炭化米塊に付着した編組製品の素材植物種 - 群馬県新井遺跡出土資料の検討から - 」『群馬県埋蔵文化財事業団 研究紀要』42 : 79-86
- 須藤隆司 2023「唐沢ヘイゴロゴロ遺跡としぐね遺跡の黒曜石産地推定と削片系両面調整石器群形成システム」『旧石器研究』19 : 21-38
- 須藤隆司 2024「男女倉ナイフ形石器の形態製作システム」『資源環境と人類』14 : 15-36
- 須藤隆司 2024「遊動狩猟民の黒曜石コストパフォーマンス」『津南学』12 : 72-91
- 諏訪問順 2023「北条氏綱による小田原城の本城化と城下の整備」小田原城天守閣編『小田原城天守閣特別展 関東の雄 北条氏綱』 : 40-46
- 諏訪問順 2023「小田原城の城下の変遷」小田原市観光協会編『戦国北条フェスオフィシャルブック vol.1』戎光祥出版 : 62-67
- 鈴木美保 2024「大地のなりたち - 氷河期の古環境 (気候・地形) の特徴と変遷」府中市史編さん室編『新府中市史 通史編 原始古代』府中市 : (印刷中)
- 鈴木美保 2024「最古の人々 : 旧石器時代」府中市史編さん室編『新府中市史 通史編 原始古代』府中市 : (印刷中)
- 谷豊信・市元壘・宮田将寛・佐々木由香 2023「高精度 X 線 CT スキャナによる古代中国封泥の研究」『MUSEUM 東京国立博物館研究誌』707 : 7-41
- 谷畑美帆・神澤秀明 2024「DNA から探る古墳社会親族関係の一樣相」藤尾慎一郎編『季刊考古学』166 : 70-73
- 堤 隆 2023「神子柴における黒曜岩破碎行為とは何であったか」春成秀爾編『何が歴史を動かしたのか』雄山閣 : 135-146
- 堤 隆・池谷信之・鈴木宏行・森久大 2024「帯広市空港南 A 遺跡出土石器の黒曜石原産地推定結果報告」『公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター調査年報36 令和5年度』 : 36-42
- 堤 隆・池谷信之・中沢祐一 2024「志なの入洞穴における縄文期黒曜石の原産地推定」『資源環境と人類』14 : 89-96
- 矢島國雄・大竹幸恵・大竹憲昭・金井拓人・池谷信之 2024「シーボルトによる日本の鉱物コレクション中の黒曜石の現状調査と原産地推定」『資源環境と人類』14 : 115-129
- 吉木誉絵・石川日出志 2023「加古川市西条52号墓遺構 全体図の再検討」『ひょうご考古』19 : 37-47
- Endo, E., Shoda, S., Frachetti, M., Kaliyeva, Z., Kiyasbek, G., Zhuniskhanov, A., Liu, X., Doumani Dupuy, P. 2023 Pottery impressions reveal earlier westward dispersal of foxtail millet in Inner Asian Mountain Corridor. *Agronomy* 13 (7): 1-13
- Kadowaki, S., Suzuki, M. 2023 Africa. Nishiaki, Y., Kondo, Y.(eds.) *Middle and Upper Paleolithic Sites in the Eastern Hemisphere - a Database (PaleoAsiaDB)* Replacement of Neanderthals by Modern Humans Series, Springer Singapore : 31-39
- Kadowaki, S., Suzuki, M., Nishiaki, Y. 2023 West Asia. Nishiaki, Y., Kondo, Y.(eds.) *Middle and Upper Paleolithic Sites in the Eastern Hemisphere - a Database (PaleoAsiaDB)* Replacement of Neanderthals by Modern Humans Series, Springer Singapore : 55-62
- Naganuma, M., Suzuki, M., Nishiaki, Y. 2023 Europe(2). Nishiaki, Y., Kondo, Y.(eds.) *Middle and Upper Paleolithic Sites in the Eastern Hemisphere - a Database (PaleoAsiaDB)* Replacement of Neanderthals by Modern Humans Series, Springer Singapore: 49-54
- Nishiaki, Y., Kondo, Y., Suzuki, M. 2023 Registered Sites in the PaleoAsiaDB. Nishiaki, Y., Kondo, Y.(eds.) *Middle and Upper Paleolithic Sites in the Eastern Hemisphere - a Database (PaleoAsiaDB)*



- Replacement of Neanderthals by Modern Humans Series, Springer Singapore :115-316
- Suda, Y. and Shimada, K. (eds.) 2023 *International Obsidian Conference (IOC) Engaru 2023 Guidebook: Program, Abstracts, and Field Guides.* 129p., Shirataki Geopark Promotion Council,
- Suzuki, M. 2023 South Asia. Nishiaki, Y., Kondo, Y.(eds.) *Middle and Upper Paleolithic Sites in the Eastern Hemisphere - a Database (PaleoAsiaDB)* Replacement of Neanderthals by Modern Humans Series, Springer Singapore: 69-72
- Suzuki, M. 2023 Japanese Archipelago. Nishiaki, Y., Kondo, Y. (eds.) *Middle and Upper Paleolithic Sites in the Eastern Hemisphere - a Database (PaleoAsiaDB)* Replacement of Neanderthals by Modern Humans Series, Springer Singapore : 103-111
- Tsutsumi, T. (in press) Volcanic disasters of the great eruptions of Mt. Asama in AD1108 and AD1783 revealed by archaeological and historical research. Takahashi, M., Yasui, M., (eds.) *Active Volcano of the World*, Vol.2, Springer.

## (2) 学協会発表（講演要旨・予稿集・紙上发表）

- 遠藤英子「供物？飼料？食用？—中央アジアでの初期穀物利用—」第38回日本植生史学会大会・第64回日本花粉学会。2023年12月2日～12月3日。鹿児島大学『第38回日本植生史学会大会・日本花粉学会第64回大会・鹿児島大会要旨集』：56。口頭
- 橋詰 潤・池谷信之・中村由克・山田武文「長野県岡谷丸山遺跡の縄文草創期石器群：打製石器の検討」日本旧石器学会第21回大会。2023年6月24日～6月25日。東京都立埋蔵文化財センター『日本旧石器学会第21回大会研究発表シンポジウム予稿集』：17-20。口頭
- 池谷信之「神津島産黒曜石の海上運搬、そして集住と散開」資源環境と人類2023シンポジウム 細石刃石器群発見70周年記念「日本列島および東ユーラシアにおける細石刃石器群の展開」2023年11月11日～12日。明治大学グローバルホール『細石刃石器群発見70周年記念シンポジウム「日本列島および東ユーラシアにおける細石刃石器群の展開」』：67。紙上
- 池谷信之「神津島オブシディアン・シャトル 海を渡った旧石器人」JOEL 第42回 EPMA・表面分析ユーザーズミーティング（東京）。2023年11月22日。浅草橋ヒューリックホール。口頭
- 池谷信之「更新世における黒潮の流路と神津島産黒曜石の獲得」日本旧石器学会台21回研究発表・シンポジウム。2023年6月24日。東京都埋蔵文化財センター『更新世における海とヒトのかかわり』：48-50。口頭
- 石川日出志「漢魏晋代印・駝鈕の型式学・試論」交響する古代XIV。2023年12月10日。明治大学 グローバルホール。口頭
- 石川日出志「基調報告：弥生時代における広域分布土器型式の形成と展開」考古学研究会第69回総会・研究集会【モノの継承と転換は何を意味するのか—分布圏を考える—】。2023年4月22日。岡山大学創立五十周年記念館。『講演・研究報告発表資料集』：3-12。基調報告
- 金子悠人・奈良部大樹・佐々木由香「茨城県石岡市東大橋原遺跡における縄文時代中期土器底部圧痕と土器製作」第38回日本植生史学会大会・第64回日本花粉学会。2023年12月3日。鹿児島大学『第38回日本植生史学会大会・日本花粉学会第64回大会・鹿児島大会要旨集』：55。口頭
- 小西和彦・吉富博之・佐々木由香・小畑弘己「土器圧痕からみた縄文時代の昆虫と家屋害虫」日本考古学協会第89回総会。2023年5月28日。東海大学『日本考古学協会第89回総会・研究発表予稿集』：49。口頭
- 國木田 大・佐々木由香・山下優介・山本華・佐伯博光・米田稯「河内平野におけるムギ類利用の年代研究」日本文化財科学会第40回記念大会。2023年10月22日。なら歴史芸術文化村。口頭
- 栗島義明「装身具の流通から見た中部高地」山梨県立考古博物館開館40周年記念特別展「星降る中部高地の縄文世界」記念講演会。2023年7月19～20日。山梨県風土記の丘研修センター『星降る中部高地の縄文世界図録』：88-89。口頭
- 栗島義明「ヒスイ製装身具の展開とその意義」シンポジウム「縄文／弥生の骨角製装身具の展開とその意義：骨角製装身具類から見える社会変遷」。2023年11月5



日、明治大学グローバルホール『縄文／弥生の骨角製  
装身具の展開とその意義』資料集：31-38. 口頭

栗島義明「縄文人の木の食食を考える」シンポジウム  
「デノタメ遺跡から見た縄文の食文化」。2024年1月  
20日。北本市文化センターホール『デノタメ遺跡から  
見た縄文の食文化』：14-19. 口頭

栗島義明「材木遺跡の調査概要」シンポジウム「縄文の  
装身具を考える」。2024年1月27日。明治大学グローバ  
ルホール。説明とコメント

林 忻・箱崎真隆・能城修一・佐野雅規・李貞・中塚武「東  
京都港区我善坊谷遺跡の出土木材の酸素同位体比年代  
測定および産地推定結果」第38回日本植生史学会大会・  
日本花粉学会第64回大会。2023年12月2日～12月3日。  
鹿児島大学『第38回日本植生史学会大会・日本花粉学  
会第64回大会・鹿児島大会要旨集』：79. ポスター

長井謙治・米田 穰・ト部厚志・太田博樹・吉川昌伸・  
能城修一・佐々木由香・吉川純子・澤田純明・下岡順  
直・宮田佳樹・丸山真史・佐々木繁喜・中村由克・岩  
瀬 彬・小熊博史・麻柄一志・片岡 新・角田朋行「山  
形県南陽市北町低湿地発掘プロジェクト—2020—23年  
度合同発掘調査の中間的報告—」日本考古学協会第89  
回総会。2023年5月28日。東海大学『日本考古学協会  
第89回総会研究発表要旨』：20. 口頭

中村由克「透閃石ネフライトを用いた球状耳飾の確認の  
意義」日本考古学協会2023年度宮城大会。2023年10月  
28日～10月30日。東北学院大学土樋キャンパス『日本  
考古学協会2023年度大会研究発表要旨』：37. 『日本考  
古学協会2023年度宮城大会「災害と境界の考古学」研  
究発表資料集』：195-202. 口頭

中村由克「黒曜石晶子形態に基づく蛍光X線分析で分け  
られない原産地の特定」地学団体研究会第77回総会。  
2023年8月19日～8月20日。秩父市歴史文化伝承館。『地  
学団体研究会第77回総会講演要旨集』：90. ポスター

根岸 洋・箱崎真隆・能城修一・小林謙一・蒲生侑佳・  
宮原千波・小久保竜也・桑村夏希・原口雅隆「縄文時  
代後期の掘立柱建物跡に伴う木柱の基礎的研究」日本  
考古学協会第89回総会。2023年5月28日。東海大学『日  
本考古学協会第89回総会研究発表要旨』：98. ポスター  
能城修一「縄文時代後半から弥生時代の南九州における

森林資源の管理と利用」第38回日本植生史学会大会・  
日本花粉学会第64回大会。2023年12月2日～12月3日。

鹿児島大学『第38回日本植生史学会大会・日本花粉学  
会第64回大会・鹿児島大会要旨集』：15-18. 招待講演  
能城修一・佐々木由香・吉川昌伸・工藤雄一郎・スダル

シャン・バンダリ「埼玉県デノタメ遺跡の植物資源  
利用にみる4.2ka イベントの影響」第38回日本植生史  
学会大会・日本花粉学会第64回大会。2023年12月2日  
～12月3日。鹿児島大学『第38回日本植生史学会大会・  
日本花粉学会第64回大会・鹿児島大会要旨集』：59.  
口頭

佐々木由香・米田恭子・能城修一「縄文土器付着炭化物  
の形態学的検討—東京都下宅部遺跡を中心に」日本文  
化財科学会第40回記念大会。2023年10月22日。なら歴  
史芸術文化村。口頭

佐々木由香・能城修一・小林和貴・山本 華・首藤 剛・  
Hari Prasad Devkota・菅野紀子・高田和徳「縄文土  
器付着炭化植物遺体からみた種類と用途」日本考古学  
協会第89回総会。2023年5月28日。東海大学『日本考  
古学協会第89回総会研究発表要旨』：48. 口頭

杉本 亘・佐々木由香・西野雅人「土器圧痕調査の社会  
実装による遺跡市民団体の活性化—千葉市加曽利貝塚  
での実践例—」第38回日本植生史学会大会・第64回日  
本花粉学会。2023年12月3日。鹿児島大学『第38回日  
本植生史学会大会・日本花粉学会第64回大会・鹿児島  
大会要旨集』：54. 口頭

諏訪 順「神奈川の細石刃出現期と尖頭器」資源環境  
と人類2023シンポジウム「日本列島および東ユーラ  
シアにおける細石刃石器群の展開」。2023年11月11日・  
12日。明治大学グローバルホール『細石刃石器群発  
見70周年記念シンポジウム「日本列島および東ユーラ  
シアにおける細石刃石器群の展開』：39-46. 口頭

諏訪 順「北条氏綱と小田原城」小田原北条氏誕生  
500年記念講演会「戦国大名北条氏綱を語る」。2023年  
12月2日。小田原三の丸ホール『講演会「北条氏綱を  
語る」講演要旨』：2-10. 口頭

諏訪 順「家康と小田原北条氏」シンポジウム「家康  
と小田原北条氏」。2023年5月3日。小田原三の丸ホ  
ール『シンポジウム「家康と小田原北条氏」講演要旨』：

## 2-6. 口頭

谷畑美帆・大賀健・永井智教・中村岳彦・青笹基史「三  
明寺古墳群出土資料の特性－被葬者像を考察するため  
に－」日本考古学協会第89回総会. 2023年5月28日.  
東海大学『日本考古学協会第89回総会・研究発表予稿  
集』: 105. ポスター

堤 隆「小石刃生産モードと細石刃生産への展開」細  
石刃石器群発見70周年記念シンポジウム『日本列島  
および東ユーラシアにおける細石刃石器群の展開』.  
2023年11月11日. 明治大学グローバルホール. 『細石  
刃石器群発見70周年記念シンポジウム「日本列島およ  
び東ユーラシアにおける細石刃石器群の展開」』: 27-  
30. 口頭

堤 隆「香坂山遺跡のスクレブラ」日本旧石器学会  
2023年度総会. 2023年6月25日. 『日本旧石器学会第21  
回大会研究発表シンポジウム予稿集』: 37. ポスター  
渡辺 新・谷畑美帆・千葉菜穂子「「装身具」を纏った  
人物への凶行－東京湾岸域における二派の相剋－」シ  
ンポジウム「縄文の装身具を考える」. 2024年1月27日.  
明治大学グローバルフロント2F 4021教室. 『シン  
ポジウム「縄文の装身具を考える」発表予稿集』: 71-  
82. 口頭

矢島國雄「アイヌ文化と考古学」国際先住民の日記念  
4学協会シンポジウム. 2024年1月20日. かでる2・7ビ  
ル (札幌). 『これまでのアイヌ研究をふまえた今後の  
取り組みについて』: 9-10

Fujiyama, R., The First Potters in the Far East;  
Hunter-Gatherer Societies across the Japanese  
Archipelago in the Late Pleistocene. 2023年8月15日.  
Museum Lolland-Falster. 招待講演

Fujiyama, R., The Appearance and Development of  
Ceramic Technology in the Japanese Archipelago.  
2024年1月10日. Institut für Prähistorische  
Archäologie, Freie Universität Berlin. 招待講演

Fujiyama, R., Hunter-Gatherer Subsistence and  
Early Ceramic Use. 2024年1月17日. Institut für  
Prähistorische Archäologie, Freie Universität Berlin.  
招待講演

Fujiyama, R., Early Potters and their Mobility

Strategies. 2024年1月24日. Institut für Prähistorische  
Archäologie, Freie Universität Berlin. 招待講演

Fujiyama, R. Dynamics of Early Ceramic Dispersal.  
2024年1月31日. Institut für Prähistorische  
Archäologie, Freie Universität Berlin. 招待講演

Shimada, K. and Suda, Y. Concentration-based XRF  
provenance analysis of Japanese obsidian: Utility test  
of factory- installed obsidian calibration mounted  
in a portable XRF (Bruker Tracer 5i). International  
Obsidian Conference (IOC) Engaru 2023. 2023年7  
月3日. Engaru Metro Plaza. Suda, Y. and Shimada,  
K. (eds.) International Obsidian Conference (IOC)  
Engaru 2023 Guidebook: Program, Abstracts, and  
Field Guides: 32. 口頭

Shimada, K., Suto, T., Ikeya, N., and Kanai, T.  
Reconstructing the exploitation of obsidian sources  
by Upper Paleolithic humans in and around the  
Central Highlands of Honshu, Japan: Recent progress  
from X-ray fluorescence provenance analysis. 2023  
年8月19日～8月20日. Suncheon Bay Institute of  
Eco Culture Education. *New Perspective on Human  
Behavior and Migration in Asia*: 47-48. 口頭

Tsutsumi, T., Nakazawa, Y. Are they heat treated?  
Heat fractured obsidian in the archaeological record.  
International Obsidian Conference (IOC) Engaru  
2023.. 2023年7月3日. Engaru Metro Plaza. Suda,  
Y. and Shimada, K. (eds.) *International Obsidian  
Conference (IOC) Engaru 2023 Guidebook: Program,  
Abstracts, and Field Guides*: 85. ポスター

## (3) 講習会, 学習講座, フォーラム等

遠藤英子「午王山遺跡のイネ、アワ、キビ－和光市周  
辺での農耕のはじまり－」国史跡指定記念 午王山遺  
跡展 関連講座. 2023年10月22日. 和光市民文化セン  
ター. 講師

遠藤英子「青銅器時代のユーラシアステップにおけるア  
ワ・キビの拡散」明治大学黒耀石研究センター 2023  
年度研究集会. 2023年12月24日. 明治大学リバティタ  
ワー1073教室. 口頭発表

藤山龍造「環バルト海地域における土器の受容について  
－在外研究の経過報告を兼ねて－」明治大学黒耀石研  
究センター 2023年度研究集会, 2023年12月24日, 明  
治大学リパティタワー1073教室, 紙上発表

平井義敏「豊田市の岩石・地質」豊田市新博物館・岩石  
標本あつめるプロジェクト, 2023年9月16日・10月21  
日・11月18日・2024年1月20日, 愛知県豊田市郷土資  
料館, 企画運営

平井義敏「豊川の石器石材」ワークショップ 河原の石  
で石器作り, 2023年12月10日, 新城市桜淵公園, 企画  
運営

平井義敏「下呂石の石質分類からみた原産地の産状と全  
岩化学組成」明治大学黒耀石研究センター 2023年度  
研究集会, 2023年12月24日, 明治大学リパティタワー  
1073教室, 口頭発表

平井義敏「石器作り体験」あいち考古学フェスタ2023,  
2023年12月26日, 愛知県金山南ビル1F イベントスペ  
ース, 企画運営

池谷信之「岡谷丸山遺跡出土黒耀石の原産地とその解釈」  
第10回信州黒耀石フォーラム, 2023年9月10日, 発表  
(オンライン)

池谷信之「黒耀石産地推定の原理と実践」信州鷹山旧石  
器研究ワークショップ, 2023年10月7日～10月9日, 明  
治大学黒耀石研究センター, 講師

池谷信之「太古の人々は黒潮の海にどう挑んだのか？  
最新の考古学的成果から」みなとオアシスの集い in  
沼津, 2023年10月27日, プラザヴェルデ コンベン  
ションホールぬまづ, 講師

池谷信之「縄文時代中期から後期にかけての黒耀石流通  
の変化」明治大学黒耀石研究センター 2023年度研究  
集会, 2023年12月24日, 明治大学リパティタワー1073  
教室, 口頭発表

石川日出志「発掘調査から分かった新発田地域の歴史の  
はじまり」令和5年度新潟県の魅力ある文化財の保存・  
活用創造事業 新発田市の歴史文化, その特徴を魅力  
一地域の宝物を知り, 守り, 伝える一, 2023年9月16日,  
新発田市民文化会館 大ホール, 講演

石川日出志「国宝「漢委奴國王」金印の考古学」春日氏  
奴国の丘歴史資料館 考古企画展記念講演会, 2023年

9月30日, ふれあい文化センター・サンホール, 講演  
石川日出志「弥生時代の渡来系技術の実像」第17回鞠智  
城東京シンポジウム渡来系技術と古代山城・鞠智城一  
渡来文化の重層性一, 2023年10月1日, 明治大学アカ  
デミーホール, 発表

石川日出志「国史跡午王山遺跡の時代」国史跡指定記念  
午王山遺跡展記念講演会, 2023年10月7日, 和光市民  
文化センター 小ホール, 講演

石川日出志「石庖丁の刃づけと使用法」明治大学黒耀石  
研究センター 2023年度研究集会, 2023年12月24日,  
明治大学リパティタワー1073教室, 口頭発表

栗島義明「あいさつ。総括ほか」特別講義 "Lower  
Palaeolithic industry of An Khe in central Vietnam"  
(明治大学研究者交流支援事業), 2023年7月1日, 明  
治大学リパティタワー 1074教室

栗島義明「土器収納された磨製石斧の石材」明治大学黒  
耀石研究センター 2023年度研究集会, 2023年12月24  
日, 明治大学リパティタワー1073教室, 紙上発表

水沢教子「縄文時代のサケ漁とその利用」千曲市歴史講  
座, 2023年2月10日, さらしなの里歴史資料館, 講師  
水沢教子「全盛期の縄文土器」長野市立長野高等学校地  
歴選択授業「ながのろじー」, 2023年5月25日, 長野  
市立長野高等学校, 講師

水沢教子「動く！！縄文土器 信州の縄文時代から考え  
る」浅間縄文ミュージアム夏季講演会, 2023年7月9  
日, エコールみよた あつもりホール, 講演

水沢教子「長野県朝日村熊久保遺跡出土土器の態度につ  
いて」明治大学黒耀石研究センター 2023年度研究集  
会, 2023年12月24日, 明治大学リパティタワー1073教  
室, 紙上発表

中村由克「岡谷丸山遺跡の石器石材とその産地」第10回  
信州黒耀石フォーラム, 2023年9月10日, 発表(オン  
ライン)

中村由克「黒耀石はなぜ黒いのか？－石器に使われた－  
石の秘密－」地学団体研究会「長野の大地セミナー」,  
2023年9月24日, 信州大学教育学部, 発表

中村由克「安山岩・サヌカイトの帯磁率を利用した産地  
推定法」安山岩・サヌカイトの帯磁率を利用した産地  
推定法研究会(第1回), 2023年9月29日～10月1日, 広



鳥島庄原市帝釈峡展示施設・時悠館. 発表

中村由克「石器石材の見方」信州鷹山旧石器研究ワークショップ. 2023年10月7日～10月9日. 明治大学黒耀石研究センター. 講師

中村由克「日本列島の旧石器人類と野尻湖発掘」野尻湖愛知友の会学習会. 2023年11月23日. 名古屋市向陽高校. 発表

中村由克「和田エリア、蓼科エリアにおける黒耀石晶子形態の特徴」明治大学黒耀石研究センター 2023年度研究集会. 2023年12月24日. 明治大学リバティタワー1073教室. 口頭発表

中村由克「安山岩製石器の産地推定－能登に見つかったサスカイト原産地－」地学団体研究会長野支部2024年学習会. 2024年2月12日. 信州大学教育学部. 発表

中村由克「安山岩・サスカイトの帯磁率を利用した産地推定法」安山岩・サスカイトの帯磁率を利用した産地推定法研究会（第2回）. 2024年2月23日～2月24日. 鳥島庄原市帝釈峡展示施設・時悠館. 発表

能城修一「2008年西ネパール・シミコット植物調査」青ヶシ研究会. 2023年4月23日. 東京大学総合研究博物館. 発表

能城修一「縄文時代の日本列島におけるウルシの存在」漆サミット 2023. 2023年11月25日. 明治大学. 発表

能城修一「出土木材の樹種から見た西富岡・向畑遺跡の縄文時代後・晩期の埋没林」かながわ考古学財団設立30周年記念公開セミナーようこそ縄文の森へ～自然科学と考古学から探る伊勢原の埋没林～. 2023年12月9日. 伊勢原市民文化会館. 講師

能城修一「富山県南太閤山 I 遺跡周辺における縄文時代前期の植物資源利用」明治大学黒耀石研究センター 2023年度研究集会. 2023年12月24日. 明治大学リバティタワー1073教室. 紙上発表

大竹憲昭「掘ってわかった信州の歴史」第51回 まるこ春秋学園. 2023年5月24日. 丸子文化会館. 講師

大竹憲昭「信州にはじめて住んだ人びとー長野県の旧石器時代ー」安曇誕生の系譜を探る会歴史講座. 2023年10月22日. 安曇野市豊科公民館. 講師

大竹憲昭「神子柴遺跡の理解」神子柴フォーラム. 2023年11月19日. 伊那市生涯学習センター. パネラー

大竹憲昭「信州の人類文化の始まりを探る」明治大学黒耀石研究センター 2023年度研究集会. 2023年12月24日. 明治大学リバティタワー1073教室. 紙上発表

佐々木由香「縄文時代の植物資源利用」令和5年度国立民族学博物館共同研究会. 2023年4月15日. 国立民族学博物館. 発表

佐々木由香「科学の視点で考古学ー土器のくぼみ（圧痕）から植物を調べるー」ワークショップ「あなたも考古学者！」. 2023年6月2日. 多摩六都科学館. 講師

佐々木由香「縄文土器のくぼみは何を教えてくれるのかー圧痕レプリカ法の実演と体験ー」相模原市立博物館講座. 2023年8月6日. 相模原市立博物館. 講師

佐々木由香「奥会津における縄文時代の植物関連資料の意味を考えるー三島町荒屋敷遺跡等の出土品からー」奥会津の縄文時代の植物利用を考える. 2023年9月9日. 奥会津博物館. 発表

佐々木由香「尖石縄文文化賞受賞記念講演」第24回宮坂英弑記念尖石縄文文化賞授賞式・記念講演. 2023年11月12日. 尖石縄文考古館. 講演

佐々木由香「西富岡・向畑遺跡の埋没林から見る縄文時代後晩期の古環境」かながわ考古学財団設立30周年記念公開セミナーようこそ縄文の森へ～自然科学と考古学から探る伊勢原の埋没林～. 2023年12月9日. 伊勢原市民文化会館. 講師

佐々木由香「縄文時代のシダ縄の復元実験」学術変革領域（A）土器を掘る：22世紀型考古資料科学の構築と社会実装をめざした技術開発型研究 研究集会2023年度研究集会. 2023年12月10日. 発表（オンライン）

佐々木由香「極微量分析法による炭化穀物の年代解明」学術変革領域（A）土器を掘る：22世紀型考古資料科学の構築と社会実装をめざした技術開発型研究 研究集会2023年度研究集会. 2023年12月10日. 発表（オンライン）

佐々木由香「東京都下宅部遺跡における縄文土器付着炭化物の形態学的検討」明治大学黒耀石研究センター 2023年度研究集会. 2023年12月24日. 明治大学リバティタワー1073教室. 口頭発表

佐々木由香「植物考古学事始め」浅間縄文ミュージアム 冬季講演会. 2024年2月3日. 浅間縄文ミュージアム.

## 講演

- 佐々木由香「下宅部遺跡の土器炭化植物遺体からみた縄文時代の植物利用」令和5年度東村山考古学講演会。2024年2月18日。東村山ふるさと歴史館。講演
- 佐々木由香「食用以外の縄文時代の植物利用－令和5年度御所野縄文博物館との共同研究について」令和5年度調査成果発表会。2024年2月25日。御所野縄文博物館。発表
- 佐々木由香「縄文土器からみた食べもの以外の植物利用」市民講座「見えた、わかった縄文人：土器が語る縄文人の暮らし・食・心」。2024年3月9日。明治大学。講師
- 佐々木由香「縄文人はグルメだったか？考古学者が本気で縄文食を考える」三鷹市考古学体験講座。2024年3月10日。三鷹市教育センター。講師
- 島田和高「中間スケールにおける中部高地黒耀石原産地の利用：アップデート2023」明治大学黒耀石研究センター 2023年度研究集会。2023年12月24日。明治大学リバティタワー1073教室。紙上发表
- 須藤隆司「冠遺跡の発掘調査」明治大学黒耀石研究センター 2023年度研究集会。2023年12月24日。明治大学リバティタワー1073教室。紙上发表
- 諏訪間 順「考古学で迎える旧石器ワールド～研究の原点は大和にあり!」健康都市大学 やまとみらいカレッジ。2023年4月1日・22日・5月6日・6月10日。大和市生涯学習センター。講師
- 諏訪間 順「北条五代と小田原城」小田原稲門会講演会。2023年5月20日。湯本富士屋ホテル。講演
- 諏訪間 順「緑壽応穩 北条五代と小田原城」野村證券株式会社 小田原支店開設20周年記念特別講演。2023年5月25日。小田原三の丸ホール。講演
- 諏訪間 順「小田原城総構を知ろう」。二宮町生涯学習センター講座。2023年5月25日。おだわら市民交流センター UMECO。講師
- 諏訪間 順「小田原北条氏と小田原城」小田原商工会議所青年部歴史講座。2023年7月20日。おだわら市民交流センター UMECO。講師
- 諏訪間 順「相模野段階編年再構築に向けての課題」石器文化研究会第287回例会。2023年7月22日。ふれあい貸会議室 五反田駅。発表
- 諏訪間 順「小田原城の全て～戦国から現在まで～」城熱祭2023。2023年9月18日。鶴見中央コミュニティーハウス。講演
- 諏訪間 順「旧石器時代史を編む」信州鷹山 旧石器ワークショップ。2023年10月7日～9日。明治大学黒耀石研究センター。講師
- 諏訪間 順「小田原北条氏と小田原城」第58回全国城郭管理者協議会研修会 小田原大会。2023年11月8日。おだわら市民交流センター UMECO。講師
- 諏訪間 順「城の考古学～城の発掘と遺構の評価～」お城 EXPO2023。2023年12月17日。パシフィコ横浜ノース。講演
- 諏訪間 順「神奈川県西部の細石刃石器群の較正年代と黒耀石産地」明治大学黒耀石研究センター 2023年度研究集会。2023年12月24日。明治大学リバティタワー1073教室。口頭発表
- 諏訪間 順「小田原北条氏と小田原城の歴史」富士の里市民大学。2024年1月26日。富士吉田市民会館小ホール。講演
- 鈴木美保「刃部磨製石斧の謎を探る」令和5年度 子ども考古学講座「考古学へのはじめの一步」。2023年12月3日。武蔵野ふるさと歴史館。講師
- 鈴木美保「石器群の編年の研究とその解釈－野川編年を題材として－」石器文化研究会第290回例会。2023年12月23日。スマートレンタルスペース新橋汐留。発表
- 鈴木美保「石器群技術の多様性を考える－技術モードの分析から－」明治大学黒耀石研究センター 2023年度研究集会。2023年12月24日。明治大学リバティタワー1073教室。口頭発表
- 谷畑美帆「夢を叶える場所はどこ？」小学校出前講座。2023年4月・6月・7月。中郷小学校・岩根小学校・畑沢小学校。講師
- 谷畑美帆「古代から近世の病－古人骨と文献から考える－」令和5年度 加曾利貝塚博物館・市原歴史博物館 連携講座 お祈りの系譜。2023年11月23日。千葉市生涯学習センター ホール。講師
- 谷畑美帆「被葬者（古人骨）から探る中世社会」明治大



学黒耀石研究センター 2023年度研究集会, 2023年12月24日, 明治大学リバティタワー1073教室, 紙上发表

堤 隆「887年仁和の八ヶ岳山体崩壊と1783年浅間山大噴火: 火山災害が語るもの」佐久考古遺産フォーラム 2023, 2023年6月3日, 長野県佐久穂町 茂来館, 講演

堤 隆「浅間山天明の大噴火 生死の明暗を分けた信州と上州」天明泥流ミュージアム 講演会, 2023年6月11日, 天明泥流ミュージアム, 講演

堤 隆「石器製作ワークショップ」岐阜県立関高校 普及講座, 2023年7月8日, 関市 刃物会館, 講師

堤 隆「私たちの浅間山～浅間山全域をジオパークにしよう～」浅間山大好きミーティング, 2023年7月21日, 小諸市民交流センター

堤 隆「240年前の浅間山天明噴火で起きたこと」浅間火山とジオパークを知るつどい, 2023年10月7日, 軽井沢町中央公民館, 講演

堤 隆「1783年浅間山天明噴火 そして歴史が動いた」佐久市浅間地区公民館講演会, 2023年11月5日, 浅間会館, 講演

堤 隆「香坂山遺跡 列島最古の「石棒」」2023年長野県旧石器研究交流会, 2023年11月23日, 長野県佐久穂町 茂来館, 発表

堤 隆「人はなぜアートを手にしたか」, ザワメキアート展 対談, 2023年12月9日, 長野県立美術館

堤 隆「イタリア・ヴェスヴィオ山噴火による火山災害遺跡の調査」明治大学黒耀石研究センター 2023年度研究集会, 2023年12月24日, 明治大学リバティタワー1073教室, 口頭発表

堤 隆「ヨーロッパ旧石器時代の洞窟壁画をめぐって」明治大学黒耀石研究センター普及講演会, 2024年1月21日, 明治大学グローバルホール

堤 隆「北沢の大石棒をどう守っていくか」第4回 佐久石棒フォーラム, 2024年1月27日, 長野県佐久穂町 茂来館

矢島國雄・大竹幸恵・池谷信之「オランダ、シーボルト・コレクションの日本由来の黒耀石原産地 (続報)」明治大学黒耀石研究センター 2023年度研究集会, 2023年12月24日, 明治大学リバティタワー1073教室, 口頭発表

### (3) その他 (短文・書評等)

池谷信之 2023「下田市田京山遺跡と神津島産黒耀石」『明治大学黒耀石研究センターニューズレター』19: 3

中村由克 2023「顕微鏡でわかる黒耀石のちがいがい」『明治大学黒耀石研究センターニューズレター』19: 2

大竹憲昭 2024「研究の窓 分布調査の意義」『長野県の埋蔵文化財情報誌 信州の遺跡』22: 8

佐々木由香 2024「植物と人との関わり - 植物考古学の研究視点」『明治大学黒耀石研究センターニューズレター』20: 2

島田和高 2024「国際黒耀石会議 (IOC) 遠軽2023に参加して」『明治大学博物館友の会会報』79: 4-5

須藤隆司 2023「金剛萱遺跡と香坂山遺跡」『くりっぺ - 下仁田自然学校だより -』131: 7-8

須藤隆司・国武貞克 2024「長野県佐久穂町トリデロック遺跡の学術発掘報告 - 列島最古の石刃石器群の探求 -」『明治大学黒耀石研究センターニューズレター』20: 3

鈴木美保 2023「石器製作と黒耀石」『明治大学黒耀石研究センターニューズレター』19: 4

堤 隆 2024「黒耀石が宿す霊力」『考古学ジャーナル』792: 1

堤 隆 2023「縄文と現代」『CFJ MAGAZIN』2023 (7): 1

堤 隆 2023「みんなの考古学」『文化遺産の世界』: web 掲載

堤 隆 2023「国際黒耀石会議 (International Obsidian Conference<IOC> Engaru 2023) 開催!」『明治大学黒耀石研究センターニューズレター』19: 1

堤 隆 2024「黒耀石が宿す霊力」『考古学ジャーナル』792: 1

堤 隆 2024「信州鷹山旧石器ワークショップの開催」『明治大学黒耀石研究センターニューズレター』20: 1

堤 隆 2024「研究の到達点が明らかに!」『明治大学黒耀石研究センターニューズレター』20: 4

## V 研究出張

- 2023年4月14日：能城修一「東京都浅草線泉岳寺駅改良土木工事（その1）に伴う埋蔵文化財調査現場」
- 2023年4月17日～18日：中村由克「岡谷市教育委員会岡谷整理室（石器石材調査）」
- 2023年4月21日～23日：堤 隆「秋田県米ヶ森遺跡（旧石器調査）」
- 2023年4月22日～23日：石川日出志「岡山大学（考古学研究会第69回総会・研究集会への参加）」
- 2023年4月23日～24日：栗島義明「山形県最上町（遺跡踏査）」
- 2023年4月26日～27日：堤 隆「神奈川県大和市深見諏訪山遺跡（黒曜石器調査）」
- 2023年4月28日～30日：中村由克「群馬県金剛萱遺跡（発掘調査）」
- 2023年4月30日～5月1日：石川日出志「松本市立考古博物館・安曇野市文化財資料センター（松本平弥生中期土器検討会 第1回 参加）」
- 2023年5月3日：水沢教子「朝日美術館（熊久保遺跡出土土器の胎土分析打ち合わせ）」
- 2023年5月12日：栗島義明「静岡県中沢地区（石材調査）」
- 2023年5月15日：栗島義明「埼玉県埋蔵文化財調査事業団（資料調査）」
- 2023年5月15日～19日：能城修一「京都府水主神社東遺跡資料整理事務所」
- 2023年5月17日～18日：中村由克「長野県 明治大学黒耀石研究センター（黒耀石晶子形態研究）」
- 2023年5月21日：平井義敏「愛知県北設楽郡設楽町棚山高原（溶結凝灰岩調査）」
- 2023年5月22日：栗島義明「新潟県新津金津鉾場アスファルト（資料調査）」
- 2023年5月22日～23日：石川日出志「大町市文化財センター（松本平弥生中期土器検討会 第2回参加）」
- 2023年5月27日～29日：堤 隆「伊豆・箱根黒耀石原産地（石材調査）」
- 2023年5月30日：中村由克「長野県 明治大学黒耀石研究センター（黒耀石晶子形態研究）」
- 2023年6月4日～5日：能城修一「鹿児島県立埋蔵文化財センター」
- 2023年6月10日～11日：石川日出志「新潟市万代市民会館ほか（新潟県考古学会 第35回大会参加）」
- 2023年6月10日～11日：能城修一「御所野縄文博物館」
- 2023年6月12日：石川日出志「小田原氏久野下馬下遺跡（調査現場見学）」
- 2023年6月12日：能城修一「福島県埋蔵文化振興財団遺跡調査部」
- 2023年6月16日：栗島義明「群馬県安中市下仁田町（資料調査）」
- 2023年6月23日～25日：栗島義明「山梨考古博物館・長野県尖石考古館・野尻湖ナウマンゾウ博物館・新潟県上越市博物館・津南町なじょもん館（資料調査）」
- 2023年6月24日～25日：堤 隆「東京都埋蔵文化財センター（日本旧石器学会）」
- 2023年6月24日：石川日出志「福島県立博物館（石包丁資料調査）」
- 2023年6月24日～25日：大竹憲昭「日本旧石器学会 第21回大会（参加）」
- 2023年6月26日：能城修一「国立歴史民俗博物館」
- 2023年7月1日～6日：堤 隆：「北海道遠軽町（第4回国際黒耀石会議遠軽大会（IOC Engaru 2023）出席）」
- 2023年7月2日～8日：島田和高「北海道遠軽町（第4回国際黒耀石会議遠軽大会（IOC Engaru 2023）の運営・参加）」
- 2023年7月2日～4日：大竹憲昭「北海道遠軽町（第4回国際黒耀石会議遠軽大会（IOC Engaru 2023）参加）」
- 2023年7月4日：大竹憲昭「北海道白滝黒耀石原産地・遠軽町埋蔵文化財センター（踏査・資料見学）」
- 2023年7月8日～9日：堤 隆「岐阜県関市刃物会館（石器製作ワークショップ講師）」
- 2023年7月11日～18日：中村由克「長野県 明治大学黒耀石研究センター（黒耀石晶子形態研究）」
- 2023年7月14日：栗島義明「群馬県高崎市観音塚資料館（資料調査）」
- 2023年7月16日～17日：能城修一「御所野縄文博物館」
- 2023年7月21日～22日：栗島義明「岐阜県中津川市資料館・峰一合遺跡・徳山町資料館（資料調査）」
- 2023年7月21日～22日：能城修一「新潟県村上市漆畑」

- 2023年7月23日～28日：能城修一「京都府水主神社東遺跡資料整理事務所」
- 2023年7月24日～27日：中村由克「山形県小国町・米沢市周辺フィールド（珪質頁岩石材調査）」
- 2023年7月26日：栗島義明「群馬県鬼石町・埼玉県小鹿野町（資料調査）」
- 2023年7月29日：石川日出志「明治4021GF（考古学研究会第60回東京例会 参加）」
- 2023年7月30日：栗島義明「さいたま市真福寺貝塚（資料調査）」
- 2023年8月1日：池谷信之「東京都大田区ジャパンマシナリー株式会社（最新のp-XRFの性能とオペレーションを確認する）」
- 2023年8月1日～10日：堤 隆「長野県トリデロック遺跡（発掘調査）」
- 2023年8月4日・7日・30日・31日：石川日出志「明治大学博物館（明大4号銅鐸実測）」
- 2023年8月6日～16日：大竹憲昭「オランダ ナチュラリス生物多様センター（シーボルト・コレクションの黒耀石調査）、イギリスセットフォード、ロンドン大英博物館（資料見学）」
- 2023年8月7日：中村由克「長野県トリデロック遺跡（地質調査）」
- 2023年8月8日：栗島義明「埼玉県北本市デーノタメ遺跡（資料調査）」
- 2023年8月10日～17日：能城修一「タイ（仏像調査）」
- 2023年8月11日～12日：平井義敏「岐阜県下呂市湯ヶ峰（下呂石調査）」
- 2023年8月17日～22日：島田和高「大韓民国順天（11th APA Korea への参加）」
- 2023年8月17日～24日：堤 隆「韓国順天市（アジア旧石器協会参加）」
- 2023年8月18日～20日：中村由克「埼玉県 地学団体研究会秩父総会に参加（ポスター発表）」
- 2023年8月22日：中村由克「岡谷市教育委員会岡谷整理室（石材調査）」
- 2023年8月23日～29日：能城修一「韓国南部・津島（黄漆調査）」
- 2023年8月26日：石川日出志「明治大学グローバルホール（国際学術研究会「東アジアからみた出土文字史料・墨書土器」参加）」
- 2023年8月29日：池谷信之「長野県岡谷市文化財整理室（目切遺跡出土土器借用）」
- 2023年9月1日～3日：能城修一「八戸市是川縄文館（藍胎漆器調査）」
- 2023年9月2日：水沢教子「千曲市戸倉創造館（土器の拓本、断面実測作業）」
- 2023年9月2日：水沢教子「朝日美術館（胎土分析に関する意見交換）」
- 2023年9月3日～13日：栗島義明「山形県材木遺跡（科研Bによる発掘調査）」
- 2023年9月4日～5日：中村由克「山形県米沢市教育委員会（石器石材調査）」
- 2023年9月4日～8日：能城修一「東京大学樹芸研究所（樹木標本採集）」
- 2023年9月4日～9日：島田和高「長野県諏訪市博物館（黒曜石原産地分析）」
- 2023年9月5日～8日：谷畑美帆「新潟大学医学部（千葉県内出土受傷人骨の調査）」
- 2023年9月11日：平井義敏「岐阜県下呂市湯の平遺跡（発掘見学）」
- 2023年9月11日：水沢教子「株式会社ニチカ（土器の薄片作成打ち合わせ）」
- 2023年9月11日～16日：遠藤英子「マルグラン考古学研究所（アルマティ、カザフスタン）（土器圧痕調査、シンポジウム講演）」
- 2023年9月18・25日：平井義敏「岐阜県下呂市湯ヶ峰（下呂石調査）」
- 2023年9月20日～21日：中村由克「長野県 明治大学黒耀石研究センター（黒曜石晶子形態研究）」
- 2023年9月20日～10月3日：堤 隆「イタリアナポリ（ソンマ・ヴェスヴィアーナ遺跡調査ほか）」
- 2023年9月29日：栗島義明「長野県栄村秋山郷（資料調査）」
- 2023年9月29日～10月2日：中村由克「広島県庄原市帝釈峡展示施設・時悠館（石器石材調査・研究法研修会）」
- 2023年9月30日～10月3日：能城修一「佐賀県東名

## 遺跡と周辺

- 2023年10月2日:栗島義明「埼玉県長瀬町・寄居町(資料調査)」
- 2023年10月7日～9日:堤 隆「長野県長和町(鷹山旧石器研究ワークショップ)」
- 2023年10月9日:栗島義明「早稲田大学(資料協議)」
- 2023年10月10日:平井義敏「愛知県奥三河郷土館(川向東貝津遺跡石材調査)」
- 2023年10月14日～15日:栗島義明「山形県最上町(材木遺跡資料検討会)」
- 2023年10月16日～17日:能城修一「御所野縄文博物館」
- 2023年10月20日～22日:中村由克「群馬県 金剛萱遺跡(発掘調査)」
- 2023年10月21日:石川日出志「新潟県江南区文化会館(新潟県考古学会2023年度秋季シンポジウム「ヒスイ原産地から見た縄文～古墳時代のヒスイ玉製作とその展開」参加)」
- 2023年10月27日:能城修一「さいたま市与野文化財整理室(出土木材資料サンプリング)」
- 2023年10月27日～28日:栗島義明「新潟県村上市・山形県高島町(資料調査)」
- 2023年10月28日～29日:石川日出志「東北学院大学(日本考古学協会2023年度大会 参加)」
- 2023年10月28日～29日:平井義敏「岐阜県下呂市湯ヶ峰(下呂石調査)」
- 2023年10月28日～30日:中村由克「仙台市東北学院大学(日本考古学協会・シンポジウム口頭発表)」
- 2023年11月2日～5日:能城修一「始良市歴史民俗資料館(編組製品復元実験)」
- 2023年11月6日:池谷信之「長野県岡谷市文化財整理室(岡谷丸山遺跡出土土器借用)」
- 2023年11月7日～8日:中村由克「石川県輪島市・能登町周辺フィールド(石材調査)」
- 2023年11月11日～12日:堤 隆「明治大学駿河台キャンパス(細石刃シンポジウム)」
- 2023年11月11日～12日:石川日出志「KOMATSU九・石川県埋文センター(弥生時代中期土器の併行関係研究会:八日市地方遺跡 参加)」
- 2023年11月15日:池谷信之「静岡県河津町 河津東小学校(見高段間遺跡出土黒曜石原石のp-XRFによる原産地推定)」
- 2023年11月17・24日:平井義敏「岐阜県下呂市湯ヶ峰(下呂石調査)」
- 2023年11月18日～19日:栗島義明「山形県尾花沢市(資料調査)」
- 2023年11月20日～21日:中村由克「長野県 明治大学黒曜石研究センター(黒曜石晶子形態研究)」
- 2023年11月21日:栗島義明「埼玉県上尾市(資料調査)」
- 2023年11月25日:石川日出志「白河市図書館(福島県考古学会第65回大会参加)」
- 2023年11月26日:池谷信之「早稲田大学戸山キャンパス(高橋龍三郎科研 研究成果報告会)」
- 2023年11月28日～29日:中村由克「長野県 明治大学黒曜石研究センター(黒曜石晶子形態研究)」
- 2023年12月1日～4日:能城修一「鹿児島大学と周辺(学会参加)」
- 2023年12月2日:栗島義明「埼玉県川越市東京航業(資料分析・検討)」
- 2023年12月4日:平井義敏「愛知県南山大学(湯ヶ峰山頂遺跡石材調査)」
- 2023年12月5日・14日:平井義敏「岐阜県下呂ふるさと記念館(大林遺跡他石材調査)」
- 2023年12月5日～6日:石川日出志「泉屋博古館(中国青銅器の時代点 見学)・寧楽美術館(古印資料調査)」
- 2023年12月8日:大竹憲昭「須坂市立博物館(打製石斧製作址資料調査)」
- 2023年12月9日～10日:栗島義明「群馬県下仁田町・埼玉県鴻巣市(資料調査・村木遺跡整理打合せ)」
- 2023年12月12日:石川日出志「熊谷市江南文化財センター(諏訪木遺跡 資料調査)」
- 2023年12月13日:栗島義明「群馬県東吾妻町(資料調査)」
- 2023年12月14日～15日:中村由克「石川県能登町・金沢市周辺フィールド(石材調査)」
- 2023年12月18日:栗島義明「埼玉県鴻巣市(村木遺跡石器整理)」
- 2023年12月19日～21日:中村由克「沼津市文化財セ

ンター（石材調査）」  
2023年12月23日～29日：能城修一「ベトナム（仏像調査）」  
2023年12月24日：堤 隆「明治大学駿河台キャンパス（黒耀石研究センター研究集会）」  
2023年12月24日：池谷信之「明治大学駿河台キャンパス（黒耀石研究センター研究集会参加）」  
2023年12月28日：堤 隆「静岡県浜松市（堀谷洞窟発掘調査視察）」  
2023年12月29日～2024年1月9日：能城修一「ラオス（編組製品調査）」  
2024年1月10日：中村由克「長野県 明治大学黒耀石研究センター（安山岩分析試料作製）」  
2024年1月14日～19日：堤 隆「沖縄県宮古島（ツブスキアブ洞窟調査視察）」  
2024年1月23日：能城修一「東京文化財研究所（螺鈿漆器調査）」  
2024年1月24日：栗島義明「さいたま市真福寺遺跡（遺跡見学）」

2024年1月26日：能城修一「東京国立博物館（木彫像調査）」  
2024年1月27日：栗島義明「明治大学 GF4021 教室（シンポジウム「縄文の装身具を考える」参加）」  
2024年2月9日：能城修一「かながわ考古学財団整理事務所（出土木材資料調査）」  
2024年2月21日：能城修一「東京都奥多摩町（木彫像調査）」  
2024年2月22日～25日：中村由克「広島県庄原市帝釈峡展示施設・時悠館（安山岩石材調査・研究法研修会）」  
2024年2月23日～25日：能城修一「御所野縄文博物館」  
2024年2月29日～3月1日：中村由克「あわら市郷土歴史資料館（石材調査）」  
2024年3月1日～4日：能城修一「始良市歴史民俗資料館（編組製品復元実験）」  
2024年3月20日～21日：能城修一「東京都奥多摩町（木彫像調査）」